

いしかりのたんすいぎょ
石狩の淡水魚

石狩市の低地部では、石狩川水系の河川（石狩川、茨戸川、発寒川、伏籠川など）を中心に、32種の淡水魚が確認されています（表、豊平川さけ科学館の調査結果）。このうち、エゾホトケドジョウが北海道レッドリストの絶滅危惧種に指定されているほか、希少種に指定されているものも3種見られます。

石狩の淡水魚の中には、移入種（国内移入種も含む）も7種が確認されています。カムルチー（ライギョ）は2000年の調査によって、この地域で初めて発寒川で発見されました。その後、茨戸川でも確認されています。

表の魚のほか、調査では確認されていないが生息している可能性がある種として、スナヤツメ、エソトミヨ、シマウキゴリ、ミミズハゼが挙げられます。石狩川河口付近では、ごく稀にダウリアチョウザメが網にかかることもあります。

（志賀健司）

科	魚名	降海	移入	備考
ヤツメウナギ科	カワヤツメ	◎	□	
キュウリウオ科	ワカサギ	△	□	
	イシカリワカサギ	×	□	《希少種》
アユ科	アユ	◎	□	《希少種》
サケ科	アメマス	△	□	
	サクラマス	△	□	《留意種》
	サケ	◎	□	※留意種：特に絶滅のおそれはないが保護を要するもの等
コイ科	ウグイ	△	□	
	エゾウグイ	×	□	《留意種》
	マルタ	△	□	
	ヤチウグイ	×	□	
	ギンブナ	×	□	
	モツゴ	×	☆	
	ゲンゴロウブナ	×	☆	通称ヘラブナ
	コイ	×	☆	移入の可能性が高い
ドジョウ科	フクドジョウ	×	□	
	エゾホトケドジョウ	×	□	《絶滅危惧種》
	ドジョウ	×	☆	移入の可能性が高い
ナマズ科	ナマズ	×	☆	
トゲウオ科	イトヨ	△	□	《留意種》
	イバラトミヨ	×	□	
ボラ科	メナダ	◎	□	
タイワンドジョウ科	カムルチー	×	☆	通称ライギョ
ハゼ科	トウヨシノボリ	△	□	
	ヌマチチブ	△	□	
	ビリング	◎	□	
	ジュズカケハゼ	×	□	
	ウキゴリ	△	□	
	マハゼ	◎	□	《希少種》
カレイ科	アシシロハゼ	◎	□	
	ヌマガレイ	◎	□	

降海…◎：みんな海に行きます △：海に行くものと行かないものがあります ×：海には行きません

リストは、豊平川さけ科学館から提供していただいた調査結果に北海道（1988）の資料を補足して作成しました。

(1) 尼岡邦夫・仲谷一宏・矢部衛（1995）北日本魚類大図鑑。（株）北日本海洋センター。
 (2) 上田吉幸・前田圭司・嶋田宏・鷹見達也（編）（2003）漁業生物図鑑新北のさかなたち。北海道新聞社。
 (3) 高山肇・岡本康寿・小原聡・佐藤信洋（編）北海道札幌市およびその近郊における淡水魚の分布—1992～2002年における採集記録—。札幌市豊平川さけ科学館館報、14、31-46。
 (4) 北海道（1988）石狩湾新港地域に係る環境影響評価書。北海道。